

内舍人に成たるを云、源氏の者の成たるをば源内と申、平氏は平内、藤内、善内など申候、みな其姓を付てよび侍るなり、位署には内舍人某と書べき也、平内左衛門など申は内舍人より左衛門尉になりたるを、もとの官を付てよぶ也、太郎など申仁の左衛門尉に成たるを、太郎左衛門など申もおなじ事也、勘解由左衛門、彈正左衛門など皆同事なり、勘解由判官、彈正忠などより左衛門尉に成たる事也、

## 〔白石小品〕武家官位ノ事

足利殿ノ代盛リ迄ハ、御家人ノ官位、各古ノ制ヲ存セラレキ、サレバ其比迄ハ、太郎左衛門、三郎兵衛、四郎兵衛ナド聞ヘシ輩、皆々四府ノ尉ニシテ、六位セシモノ共、其字ヲ、

昔武士ノ字トイヒシハ、今ノ代ノ名ト云フ事ノ如シ、

其官ニアハセテ呼シナリ、左右ノ衛門大夫、左右ノ兵衛大夫ナド聞ヘシハ、皆コレ叙留ノ輩ナリ、  
○中 又其代ノ人、タトヘバ監物太郎藏人次郎、左近太郎、右馬次郎ナドイヒ、相模太郎、隠岐次郎、武藏五郎、陸奥六郎ナドイヒシモ、皆是其父ノ官途シ受領セシコトヲ其家ノ面目トシテ、其子ヲカクハイヒシ也、權太郎、介八郎ナドイヒシモ、其父其國ノ權守、其國ノ介ナドニナサレシガ子息等ニテ、源内、平内、藤内、橋内ナドイヒシハ、ミヅカラ内舍人トナサレシ輩ナリ、

〔南留別志〕三 一源内、平内、藤内は内舍人なり、太郎作、五郎作は、さくわんなるべし、

## 〔四季草〕

秋草上  
姓名

〔四季草〕上 一百官名とて、中務、式部、治部、民部、刑部、大藏、掃部、織部、主水、外記、内記、大學、藏人などの名をつくるも、右にいふごとく、官名をぬすみたる也、世俗に是らの類をば百官名といひ、何左

衛門、何右衛門、何兵衛などは、官名にあらずと心得たる人もあり、をかしき事也、

## 〔貞丈雜記〕

人名

〔貞丈雜記〕人名 一今の世、何兵衛、何右衛門、何左衛門などを、百官名にてなしと心得たる人有、あやまり也、兵衛、右衛門、左衛門は、皆官の名也、源氏の人、兵衛の官になりたるを、源兵衛と云、平氏は平